

第27回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会

目次

【議題】 高速道路での通勤パス社会実験の実施について（NEXCO中日本）

令和6年3月15日

1. 現行の平日朝夕割引について

1-1 現行割引の主な課題と見直しの方向性

- 現行の割引制度については、これまで社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会において議論されてきた
- 2021年8月4日付けで公表された「中間答申」において、以下のとおり主な課題と見直しの方向性が提言された

「中間答申」で示された主な課題と見直しの方向性

割引	現行の料金割引の主な課題	見直しの方向性
平日朝夕割引	勤務形態の多様化に未対応／ 通勤時間帯の一部高速道路の混雑	割引適用時間帯の柔軟化／ 通勤者の利用促進等の目的検討
深夜割引	割引適用待ち車両の滞留／ 運転者労働環境の悪化	割引適用時間帯の拡大／ 適用時間帯の走行分を対象
休日割引	繁忙期等の渋滞激化／ より効果的に観光需要を喚起する必要	繁忙期等に割引を適用しない／ 観光周遊等を対象とした割引の拡充
大口・多頻度割引	一層の物流等支援の必要性／ 公平性の確保	現下の経済状況を踏まえた拡充と、原因者負担の公平性の観点からの縮小の両面について、引き続き検討
マイレージ割引	利用者の実感が薄い	民間ポイント制度も参考に検討

2. 通勤パスの試行について

2-1 見直しの方向性を踏まえた試行概要

- 中間答申での課題と見直しの方向性を踏まえて、NEXCO中日本管内の石川県で通勤パスの試行を実施中
- 2024年度から山梨県においても試行を開始

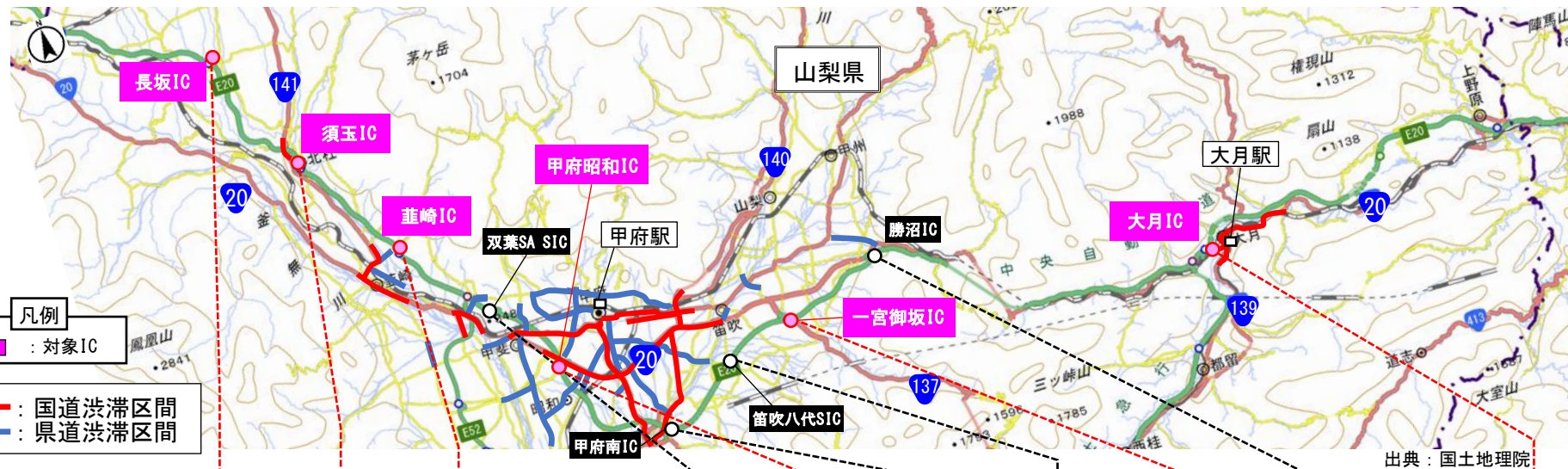
<中間答申での課題と見直しの方向性を踏まえた新たな割引>

項目	現行の平日朝夕割引	通勤パス（2024年度）
割引適用日時	<p>平日 6～9時・17～20時</p> <p>■ : 現行の平日朝夕割引で割引適用となる時間帯 (平日の6時～9時、17時～20時)</p>	<p>全日 24時間</p> <p>■ : 見直し割引案で割引適用となる時間帯 (全日の24時間)</p>
割引率の概要	<p>1か月毎の利用回数に応じて割引</p> <p>1～4回 割引なし 5～9回 30%割引 10回以上 50%割引</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20回分のパスを10回分の料分で事前購入 ・ パス残額内は10回分の料分で20回分まで利用可能 (最大50%割引) ・ パス残額外となる21回目分以降の利用は50%割引 ・ 通勤パスの対象走行は休日割引や深夜割引の適用対象外 ・ 通勤パスの申込期間中は、指定区間の内外にかかわらず、NEXCO区間における平日朝夕割引の適用対象外
割引適用方式	ETCマイレージサービスによるマイレージポイントの後日還元	<ul style="list-style-type: none"> ・ パス残額内は事前購入による残高管理 ・ パス残額外は後日割引
割引適用区間	全国の地方部の高速道路で100km以内のIC区間	一部区間で事前にパスを購入したIC区間
割引対象車種	全車種	軽自動車等および普通車
1日の利用回数上限	朝夕それぞれ1回まで	時間帯の制限なしで3回まで

2. 通勤パスの試行について

2-2 試行区間について

- 中央道 大月IC、一宮御坂IC、甲府昭和IC、韮崎IC、須玉ICおよび長坂ICの各IC間（15IC間）



出典：国土地理院

断面交通量 (台/日)	28,000	31,000	33,000	30,000	29,000	30,000	34,000	34,000	34,000	40,000	43,000	
IC間距離 (km)	8.6	7.0	4.6	1.6	5.0	7.7	5.3	4.0	6.1	19.1	0.6	
IC・JCT	長坂	須玉	韮崎	双葉J	双葉S	甲府昭和	甲府南	苗吹八代S	一宮御坂	勝沼	大月J	大月
IC												
JCT												
対象区間*	[Red box covering the trial area between Maetsuyuki and Otsuki]											

○は対象走行となる出入ICを表す

※ [Red box] から2ICを選択し、その区間内に含まれるIC間の相互交通が対象走行となる

2. 通勤パスの試行について

2-3 記者発表資料（抜粋）

2024年度試行拡大の記者発表（2024年2月16日）

報道関係各位

【同時発表】

国土交通省道路局高速道路課

2024年2月16日

東日本高速道路株式会社

中日本高速道路株式会社

西日本高速道路株式会社

「通勤パス」の社会実験を実施 ～ 2024年4月から全国6道県にエリアを拡大 ～

高速道路の平日朝夕割引は、高速道路に並行する一般道路における通勤時間帯の混雑解消のため、交通容量に余裕のある高速道路の利用促進を図ることを目的に実施していますが、社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会の「中間答申（2021年8月4日付け）」において、「適用時間帯に関する条件を見直すなど、多様化する勤務体系に対応する必要がある」、「通勤時間帯に混雑している高速道路については、前後の時間帯への分散を図るなどの工夫の必要がある」とされたことを受け、中日本高速道路株式会社では、2023年4月より石川県において通勤パスの社会実験を実施中です。

この度、国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社および西日本高速道路株式会社では、2023年12月22日に改定された「新たな高速道路料金に関する基本方針」に基づき、多様化する勤務形態への対応や高速道路内の交通分散を図ることを目的として、平日朝夕割引の見直しに向けた更なる試行・検証を行うため、現在実施中の石川県に加えて、2024年4月から全国5道県（北海道、新潟県、山梨県、香川県、長崎県）の各エリアにおいても、通勤パスの社会実験を行うこととしたのでお知らせします。

また、通勤パスのご利用にあたっては、事前にご利用される車種・区間のお申し込みが必要となりますが、具体的な販売価格、ご利用方法および申込受付開始時期等の詳細については、各高速道路会社より後日改めてお知らせいたします。

2024年度詳細の記者発表（2024年2月28日）

もっと安全に、もっとスムーズに



報道関係各位

2024年2月28日

中日本高速道路株式会社 八王子支社

山梨県内の一部区間で「通勤パス」の社会実験を実施します ～2024年3月1日からモニターを募集、4月1日利用開始～

NEXCO 中日本 八王子支社（東京都八王子市、支社長・荒井 靖博^{あらい やすひろ}）は、山梨県内の E20 中央自動車道（中央道）の一部区間で ETC 車限定の「通勤パス」を試行しますのでお知らせいたします。

「通勤パス」は、多様化する勤務形態への対応や高速道路内の交通分散を図ることを目的とした、新たな料金割引です。事前に車種・区間を指定してお申し込みいただくことで、曜日や時間帯にかかわらず、月初から月末までの1カ月間、1日3回までの走行に限り、実質 50%割引の通行料金でご利用いただけます。

山梨県内では、2024年4月1日（月）から2025年3月31日（月）までの1年間、当社の指定する区間（中央道の151C間）を対象に販売し、各月先着順で計500名のモニターを募集します。

今後、試行結果を検証し、平日朝夕割引の見直しを検討してまいります。

なお、お申し込みは2024年3月1日（金）14時から NEXCO 中日本公式 WEB サイトで受付を開始する予定です。

この機会に、通勤での高速道路のご利用をご検討ください。

※「通勤パス」は、令和5年12月22日に改定された「新たな高速道路料金に関する基本方針」に基づき、多様化する勤務体系への対応や高速道路内の交通分散を図ることを目的として、平日朝夕割引の見直しに向けた更なる試行・検証を行うため、社会実験として試行する料金割引です。なお、2023年4月より、全国に先駆けて石川県で社会実験を実施していましたが、2024年度からは、山梨県を含む全国6道県（北海道、新潟県、山梨県、石川県、香川県、長崎県）の各エリアにおいて実施する予定です。

3. 今後の効果検証について

- 山梨県を含む6道県へ試行を拡大することから、全国的な検証を実施する
- 利用者へのアンケートを中心に、試行エリアにおける交通動向の分析も実施する計画としているが、検証内容について有識者のご意見も伺いつつ効果検証を進めていく予定
- 次回以降の本会議の場で報告させていただく予定

【検証項目と検証内容について】

検証メニュー	検証内容
利用者アンケート	通勤パス販売前の交通手段、通勤時間、時間短縮効果、通勤手当の支給状況 平日朝夕割引の認知度、割引を意識して移動していたかなど (非利用者に対して、)通勤パスの認知度調査、利用しない理由など
利用動向	高速道路の利用回数の増減
渋滞	主要渋滞箇所の状況、時間帯別旅行速度
道路の利用状況	インターチェンジペア別の高速道路の利用台数 一般道路の混雑区間利用者のOD 市街地から高速道路へのアクセス道路の混雑

※その他、他の交通機関への影響についても検証予定

※なお、各エリアの地域特性を踏まえた追加分析が必要な場合は実施する